

## 令和元年度 佐賀県立杵島商業高等学校(佐賀県立白石高等学校商業科キャンパスを含む)学校評価計画

| 1 学校教育目標  | 2 本年度の重点目標  |
|---|---|
| 「生き抜く力」を育む指導をとおして、生徒一人ひとりの優れた資質を伸ばし、経済社会の発展に寄与する有意な人材の育成を目指す。 | <p>「想いを力に～あたりまえ+α～」をスローガンとして、以下の7つの重点目標の達成を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地域に愛され、地域に信頼される学校を作る。</li> <li>② 志を持ち、夢の実現のためにベストを尽くす態度を養う。</li> <li>③ 失敗を恐れずチャレンジする心を持った、心身ともに逞しい生徒を育成する。</li> <li>④ 規範意識や自尊感情を高め、自分と他人を愛する心を育む。</li> <li>⑤ 綺麗で安心な学校をみんなでつくる。</li> <li>⑥ グローバルな視点を持ち、地域で活躍できる人材を育成する。</li> <li>⑦ 地域と連携して高校魅力づくりを推進する。</li> <li>⑧ 校舎制による円滑な学校運営を実施する。</li> </ol> |



| 3 目標・評価                |                |                       |   |  |
|------------------------|----------------|-----------------------|---|--|
| ①地域に愛され、地域に信頼される学校を作る。 |                |                       |   |  |
| 領域                     | 評価項目           | 評価の観点<br>(具体的評価項目)    | 具体的目標   | 具体的方策  |
| 教育活動                   | ○ボランティア精神の育成   | 地域や社会での活動による豊かな人間性の育成 | ひまわり活動を通じて、復興支援活動によって、風化しつつある復興への意識を高め、豊かな人間の育成と社会貢献を目指す。 | ・「ひまわりプロジェクト」を中心にボランティア活動の活性化を目指して、保健部と連携しながら、部活動や生徒会のような組織的な活動ができるよう職員の配置を考えたい。     |
|                        | ○地域との連携        | 学科の特色を活かした地域活動の実施     | 地域の企業と連携し、ビジネス実践に必要な能力を育成するとともに、企業で働くことの意義や企業のしくみを理解する。   | 「きしま学美舎」の活動や「課題研究」等の体験的、実践的な活動において、地域企業と連携し、地域の企業や専門家から話を聞いたり、体験的な活動を通して学ぶ。          |
| 学校運営                   | ○情報共有による相互理解促進 | ホームページ等による情報発信        | 学校の様子を、保護者や地域の方に発信するために、HPの更新頻度を上げる。また、杵商だよりの内容充実を図る。     | HPは週に1回更新するようにして、閲覧者に見てもらえるようデザイン等を工夫する。杵商だよりは、地域の方にも見ていただけるように、職員が出張する機会などを利用し配付する。 |

② 志を持ち、夢の実現のためにベストを尽くす態度を養う。

| 領域   | 評価項目     | 評価の観点<br>(具体的評価項目)         | 具体的目標                                      | 具体的方策  |
|------|----------|----------------------------|--|--|
| 学校運営 | ●学力向上    | 基礎学力向上                     | 国語力、英語力、数学力向上のため小テストを実施する。                 | 小テストの試験範囲を生徒に示し、朝自習を通して基礎学力を身に着けさせる。   |
|      |          | 教職員の資質向上                   | ・わかり易い授業のための指導方法の工夫に努め、実践する。               | ・6月と11月を「授業力向上月間」として、他の教員の授業を2回以上参観し、意見交換を行う。  |
| 教育活動 | ●志を高める教育 | 勤労観・職業観の育成と進路意識の向上         | 自らの夢の実現のために志を持ち、努力する気持ちがあると答える生徒を95%以上とする。 | 進路ガイダンスや外部講師による講話などを企画し、自ら考えさせる時間や場面を設ける。  |
|      |          | 個々の生徒が夢や目標を設定し、実現に向けた取組の推進 | 進路決定100%を目指す。                              | 基礎力診断テスト、適性検査等の実施により、自分の力や足りないところを理解させる。そのうえで、作文・面接指導、特課等を計画しながら夢実現のための方策を施す。                                |
|      |          | キャリア教育の充実                  | ・3年間を見通したキャリア教育を推進し、職業観や勤労観を育成する。          | 教科「商業」の授業や外部講師の講義・学校行事等において、学習の深化を図り、社会で求められている人材像を理解させる。<br>また、ビジネスマナーやコミュニケーション能力、ビジネススキル等の社会人基礎力を身につけさせる。 |

③ 失敗を恐れずチャレンジする心を持った、心身ともに逞しい生徒を育成する。

| 領域   | 評価項目     | 評価の観点<br>(具体的評価項目)   | 具体的目標  | 具体的方策   |
|------|----------|----------------------|--|---|
| 教育活動 | ●志を高める教育 | 挑戦する態度の育成            | <p>【1年】1つでも多くの資格を取得する</p> <p>【2年】無遅刻、無欠席を目指す</p> <p>【3年】「自分がやらねば誰がやる！」の気概と自主性を育てる。</p> | <p>【1年】自分自身の目標点数を設定させ、見通しを持った学習をする。</p> <p>【2年】日々の規則正しい生活を意識させる。</p> <p>【3年】職員が積極的に成果を評価することで、「やれば出来る」という精神と自信を育て、次の挑戦へとつなげる。</p> |
|      | ●健康・体づくり | 望ましい食習慣と身体の自己管理能力の育成 | 朝食摂取率を90%にする。正しい知識のもと、心身共に健康で過ごすことができるようにする。   | 毎月発行の保健だよりを配布時に一読する時間を設けたり、個人面談を実施することで健康指導を行う。   |
|      | ●心の教育    | メンタルケアの充実            | 職員間及びSC等とも生徒の情報を共有し、迅速に対応できるようにする。また、生徒自身が問題を解決できる力を育成する。                              | 年2回教育相談週間の面談の実施。SC演習を年1回各学年で実施し、コミュニケーション力を向上させる。   |

④ 規範意識や自尊感情を高め、自分と他人を愛する心を育む。

| 領域         | 評価項目              | 評価の観点<br>(具体的評価項目) | 具体的目標                                    | 具体的方策  |
|------------|-------------------|--------------------|--|--|
| 教育活動       | ●心の教育             | 人権教育と情報モラル教育の充実    | ネット社会の危険性を理解させる。                         | 提供資料やDVDなどを活用し理解させる。   |
|            |                   | 思いやりの心の育成          | 互いを尊重し、自他を大切にする思いやりの心を育成する。              | 日々の授業でペア学習やグループ学習を積極的に組み込むことにより、コミュニケーションを図る場面や活動を積極的に取り入れる。 |
|            | ○生徒指導の充実          | 規範意識の向上            | 身だしなみの自覚<br>時間厳守                         | 月一回の服装頭髪指導を実施する。<br>再検査・継続指導の徹底のため、毎週月曜日 実施する。               |
|            |                   | マナーアップ             | 交通マナーの徹底                                 | 学期に1回は近隣の交差点等に職員を配置し朝の自転車マナーの向上を図る。                          |
| ○情報化社会への対応 | SNSの適切な使用に係る教育の推進 | スマートフォンのセキュリティ対策   | SNS等による危険について、セキュリティーの観点から指導。業者による講話の実施。 |  |

⑤ 綺麗で安心な学校をみんなで作る。

| 領域   | 評価項目       | 評価の観点<br>(具体的評価項目) | 具体的目標                                     | 具体的方策   |
|------|------------|--------------------|---|---|
| 教育活動 | ●いじめ問題への対応 | 教育相談体制の充実          | いじめ等生徒の問題の早期発見に努め、迅速に対応する。                | 各学年の担任会に教育担当者が参加し、生徒の情報を共有する。                       |
|      | ○清掃活動の充実   | 校内美化の徹底            | 日頃より掃除の徹底を図り、集中して取り組ませる。                  | 掃除の重点目標を明確にし、掃除の徹底を図る。<br>大掃除時は全員体操服着用で実施する         |
| 学校運営 | ○保護者との連携   | 保護者との情報共有促進        | 生徒一人一人の家庭環境や個性を十分理解しながら、本校の教育目標での指導をおこなう。 | 保護者ハンドブックを配布し、本校の教育目標を理解してもらい、学校に対する相談事などに丁寧にお答えする。 |

⑥ グローバルな視点を持ち、地域で活躍できる人材を育成する。

| 領域   | 評価項目        | 評価の観点<br>(具体的評価項目) | 具体的目標                             | 具体的方策                                   |
|------|-------------|--------------------|-----------------------------------|---|
| 教育活動 | ○異文化交流      | 異文化への興味・関心         | 異文化に対する興味・関心を持ち、姉妹校である青岩高校との交流を図る | 青岩高校との交流を継続し、実際に現地の高校生との交流を通して異文化を理解する。 |
|      | ○グローバル人材の育成 | 海外との交流に向けた取組       | 姉妹校との交流に向けて、異文化を理解する              | 事前に語学研修やテーマに沿った調べ学習などを実施する。             |

⑦ 地域と連携して高校魅力づくりを推進する。

| 領域   | 評価項目          | 評価の観点<br>(具体的評価項目)              | 具体的目標   | 具体的方策   |
|------|---------------|---------------------------------|---|---|
| 学校運営 | ○魅力と活力ある高校づくり | 地域と連携して高校の魅力を高める取組を推進することができたか。 | 本年度3回チーム会議を開催し、PDCAサイクルにより取組みを充実させる。          | コーディネーターと連携し、1年間を見通したプランを作成・実施する。実施後、検証し、次のプランに活かす。             |
|      |               |                                 | ワーキンググループ活動について情報を整理し、当事業に位置付けながらブラッシュアップを図る。 | 従来取組について情報を収集、整理すると同時に、チーム会議やWG活動を通して、外部の意見も聞きながら可能なものは計画に反映する。 |
|      |               |                                 | この活動について、地域に周知を図り、本校の教育に対する理解を促進する。           | プレスリリースやHPでの案内など広報活動を充実させる。                                     |

⑧ 校舎制による円滑な学校運営を実施する。

| 領域   | 評価項目   | 評価の観点<br>(具体的評価項目) | 具体的目標  | 具体的方策   |
|------|--------|--------------------|--|---|
| 教育活動 | ● 高校再編 | 授業の円滑な実施           | 職員減と出張等による自習時間をなくす。  | 出張予定を速やかに把握し、時間割の振替に反映させる。  |
|      |        | 学校行事の円滑な実施         | 両キャンパス合同の学校行事を円滑に実施する。   | 合同行事の計画を早めに作成し、2週間前を目途に職員に周知する。   |
|      |        | 部活動の円滑な実施          | 放課後の時間を意識を持って大切にする。  | 放課後、すぐに部活に行けるように勉強と基本的生活の確立を心がけ、放課後居残りしないよう顧問とともに努力する。  |
| 学校運営 |        | 校務分掌等の円滑な実施運営      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教務、生徒指導については昨年度までの取組を活かし、本年度の課題を整理しより良い運営に取り組む。(新しい選抜制度や部活動など)</li> <li>・完成年度を見通して、本年度は進路指導部の指導内容に係る情報共有を図り、指導方針を定めていく。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校入試については、本年度大きな変更があるため、情報収集・共有をまめに行う。部活動については利便性も踏まえながら、活動場所について整理する。</li> <li>・進路指導については他県の普通科・商業科併置校の進路指導についての情報を収集するとともに、必要に応じて先進校視察も検討する。</li> </ul> |
|      |        | 校舎間移動の円滑な実施運営      | 両キャンパスの書類のやり取り、公印の押印等は取りまとめを行い、遞送便業務時に合わせて行う。  | キャンパス間での必要書類については、早めの取り掛かりを呼びかけ、遞送便の前日までに事務室に提出する。  |

本年  
度の  
重点

| 領域 | 評価項目               | 評価の観点<br>(具体的評価項目) | 具体的目標   | 具体的方策   |
|----|--------------------|--------------------|---|---|
|    | ●業務改善・教職員の働き方改革の推進 | 校務の効率化促進           | <ul style="list-style-type: none"><li>・時間外勤務時数を減らす。</li><li>・長期休業中の年休取得を推進する。</li><li>・学校閉庁日の徹底を図る。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・本年度前半は、2019さが総文に係る業務量の増加が見込まれるが、時間外勤務時数は昨年度と同程度、後半は昨年度より5%減を目指す。</li><li>・年休取得については昨年度の平均を1日上回る。</li><li>・夏季休暇取得100%</li></ul> |

●は共通評価項目のうち必須項目、○は独自評価項目